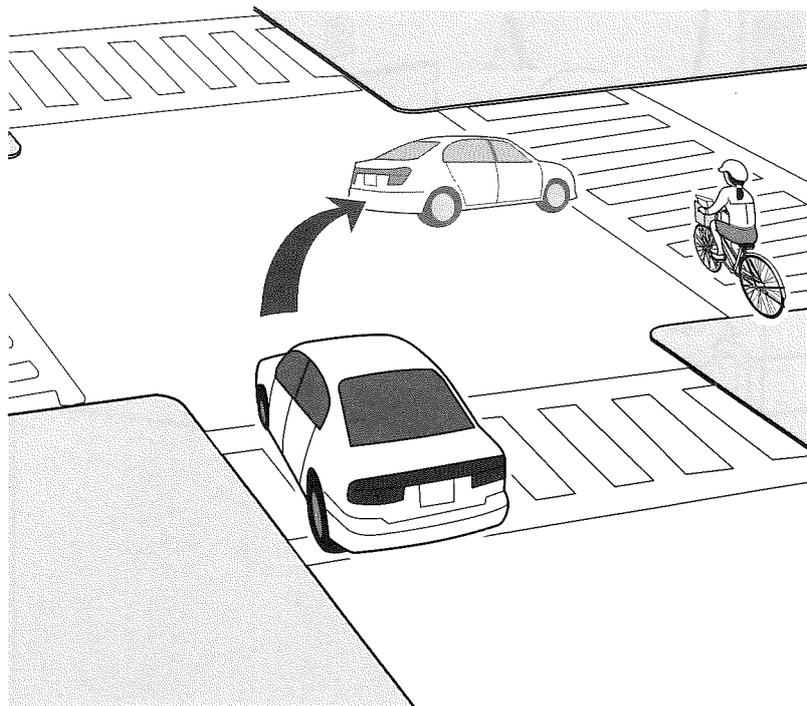


重大事故につながる右折事故

死亡事故 左折事故の4倍



警察庁の令和5年の交通事故のデータによると、車両相互の死亡事故のなかで「右折事故」は168件で前年比34件の増加、「出会いがしら」を抜き3番目に多い事故になりました。左折事故（36件）と比べてもおおよそ4倍の件数です。また横断歩道を渡る人や自転車等との衝突なども発生し重大事故につながっています。

▼右折事故の発生要因

- ① 運転席からフロントピラーの死角があり、歩行者や自転車が見えないことがあります。
- ② 運転席が右の場合は、運転手の視線の向きはわずかに左側による傾向にあります。そのため左側の視界が大きくなり、右への意識が低くなりがちです。
- ③ 対向車線の車の通行が途切れるのを待ち、限られたタイミングで行うことが多いため、「急がなければいけない」という意識が強くなり、見落としも多くなります。

▼右折時の安全運転行動

- ① 右折開始前に、危険箇所を顔を向け目視で安全確認を。特に右折先の横断歩道の右側からの歩行者・自転車は死角から進入してくるため要注意です。
- ② 反対車線の車が譲ってくれても、車両の陰からのバイク等の飛び出しの有無を確認するため、途中で一時停止などで安全確認しましょう。
- ③ 「ちよつと無理では」と感じたら、右折を強行しない「待つ勇氣」を持つことも重要です。